

(参加者)

祭り実行委員

宮崎(委員長) 安齋 大宅 國本 春山 菅沼(御輿連) 安達 鈴木 佐藤 小峰

関連団体

踊り:高橋 小笠原 和鼓連:阿部 子ども会:鳴沢 久保

町内会五役

江口会長 引地副会長 藤原会計 冨塚庶務 長尾中中村自治会長 森田下中村自治会長 敬称略

司会:國本 記録:冨塚

1、挨拶 江口町内会長、宮崎実行委員長

2、実行委員の紹介(委員長)

3、協議

(1) みこし祭り、盆踊り大会の実施について

3月の祭り実行委員会では、緊急事態宣言などが出た場合は中止になりますが、コロナ感染の状況を見ながら、開催する方向で考えていこうということになっています。

(2) 具体的なみこし祭りや、盆踊り大会の開催に向けた方策や日程について

**【各参加者意見】**

(中中)各班長へアンケートを行った。今までのような祭り開催は、コロナ対策完全実施は現実的にできない。そのような状況下での半ば強制的な班長の出席は筋が通らない。今年度開催であれば中中村は参加しない。

(下中)各班長への意見聴取はできていない。

(上中)自治会長欠席のため、引地副会長代理発言。班長へのアンケートは未実施。

(神輿蓮)軽トラック荷台へ神輿を載せて町内巡回提案したが、コロナ対策の徹底はできない。今までのような神輿祭りはできない。組織としての論議はまだできていない。

(会長)参考情報として、八王子祭りは今年開催される。従来とは異なる開催方法を模索中。やり方を検討して実施方向で考えたい。

(委員長)祭り実施のノウハウ継承という観点、各機材のメンテナンス、櫓の立て方等、また子供たちに故郷を感じてもらいたいし、思い出を残したい。やり方は検討し何らかの形で実施したい。

(副会長)各自治会班長の参加が無ければ、意味がない。上中、下中の班長にどうやったら実施できるか具体的に聞いてほしい。

(中中)具体案が提示されないと、班長へ参加可否は聞けない。形を変えてというのがコロナ対策をどうやってやるのか、現実的にどうやるのか見えない。

(委員長)保全、伝承の視点から、例えば櫓の展示、神輿の展示でもよいのでは。

(子供会)子供の参加者は多いが自治会加入世帯は少ない。開催した場合、会員かどうかの区別はできない。町内会チラシにお菓子引換券をつけるのはどうか。町内会での祭りが中止になるのであれば、子供会独自で開催も検討中。他の催し参考で運動会は観戦できるようになってはいるが、学年毎等制限があり、従来とはやり方は変わってきている。

(踊り)現状踊り手は馬場主体で中村の踊り手は少ない。今年度の馬場からの応援は無理。小学校で全体(一区連合)での盆踊りはどうか。 → 今後お検討課題ではあるが、立ち消え状態。

(委員長) 班長への役割分担は厳しい、実行委員会主体で櫓組はやる。飲食なし、ディスタンス確保はマスト。有志で実施、子供達には何らかの持ち帰るものの検討、雰囲気味わってもらう形は。

(中中) これ以上意見聴取はできない。

(委員長) 班長対象ではなく、回覧でお手伝い、協力をお願いの形ではどうか。新しい形で外枠を決めて具体的なものを各々が検討し、町内会、祭り実行委員会はサポート。

町内会 → 櫓展示      神輿 → 展示      子供会 → 子供神輿展示 など

(踊り)参考情報で沼町内会は開催方向、一区連合は5/22以降検討。

(会長)6月までコロナ情勢をみて開催可否を検討。それまでの間、具体案を検討していく。

(副会長)上中、下中は各班長へ意見徴収したほうが良い。

(和鼓連)音出しだけなので、従来のやり方と変わりはない。日程については、参加メンバーや機材の確認等あるので、開催1か月前には連絡が必要。

(委員長)具体的素案を次回開催までに作成する。従来のやり方はできない。6月中旬目途で開催可否を決めたい。

(子供会)実施内容を提示していただければ、子供会としてできる範囲、開催時間等も含め検討する。

### (3) その他

例年の祭り開催日は7月下旬土曜日

次回予定：5/21(土) 14:00～15:00 於：中中村自治会館

議題：委員長作成の開催方法素案にて論議